

【5年】

各教科共通

- ◎読み解く力〈6つの領域〉について、意識した授業を行う。
- ◎教科書分析を行い、言葉にこだわり、「読むこと・書くこと・話すこと」の時間を重視する。
- ◎必然性のある内容を工夫し、家庭学習との連携を図る。

国語

■児童の状況	○物語文において、登場人物の気持ちを読み取ることは多くの児童ができている。 ●文章の時系列や、構成を確認することが苦手な児童が多い。 ●適切な漢字や言葉を使って、文章に表すことが苦手な児童が多い。 ●学習した漢字を忘れてしまい、平仮名で表記する児童が多い。
■指導についての課題	・多くの言葉に出会い、たくさんの語彙を獲得していくことのできる指導の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・主語、述語を確認する場面を多く作り、一文一文を丁寧に読み解いていく学習を意図的に作る。 ・日々の学習を通じて、文章を書くという活動を繰り返し取り入れていく。

算数

■児童の状況	○図形を書いたり、グラフを書いたりする活動は多くの児童ができている。 ●小数のかけ算、わり算の筆算の途中でミスをして、小数点を打つ位置を間違えてしまう児童が多い。
■指導についての課題	・繰り返し、計算を解く時間を毎時間設け、定着できるような指導の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・小数のわり算では、問われている問題（四捨五入、割り切れるまでなど）を意識させ、正しく答えられるようにさせる。 ・計算練習を繰り返し行い、確実に計算できる力を身に付けさせる。

社会

■児童の状況	○興味・関心が高く、自ら社会的事象について理解を深めようとする児童が多い。 ●調べ学習において、必要な情報を抜き出してまとめることが苦手な児童がいる。
■指導についての課題	・表やグラフなど資料活用問題を多く扱い、情報を抜き出す活動を多く取り入れる
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・教科書の分析を行い、自分の力で読み取れるように継続して取り組む。 ・キーワードとなる言葉を使って、学習をまとめる活動を取り入れ、大切な言葉を意識して使えるようにする。 ・教科書の文を自分の言葉を使って言い換える活動を取り入れる。

理科

■児童の状況	○観察や実験に意欲的に取り組む児童が多い。 ●実験結果から何が分かったかということをまとめることが苦手な児童がいる。
■指導についての課題	・問題、予想、実験、結果、考察という流れを繰り返すことで、定着を図る。
■授業改善に向けての具体的な方策	・毎時間、めあてを提示し、振り返りとの一体化を図る。 ・実験方法を考え、自分たちの力で課題を解決できたという実感を多く味わわせるようにする。

	・何を調べるための実験なのかを明確にして、結果から分かったことをまとめやすくする。 ・実験では、調べるための条件制御については繰り返し指導する。
体育	
■児童の状況	○体を動かすことが好きな児童が多い。 ●領域によって、苦手意識が強い児童が多く見られる。
■指導についての課題	・個人の課題を設定して、スモールステップで指導をする工夫。 ・特性に応じた楽しさを味わえるような授業展開の工夫。
■授業改善に向けての具体的な方策	・学習カードでは、全体のめあてと個人のめあてを分けて書けるようにする。 ・できたときにそれを教員が認めたり、友達に見せたりして意欲の向上を図る。 ・友達と学びあう時間を設け、助言・アドバイスしながらお互いに高め合えるようにする。 ・ICT 機器を活用し、課題解決の手がかりとさせる。

家庭科	
■児童の状況	○裁縫をとっても意欲的に行う児童が多く見られる。 ●日常的な取り組みを、学習に生かそうとする児童が少ない。
■指導についての課題	・家庭科で学習したことを、日常生活に生かす工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・家事の大切さが分かるように、自分たちにもできることを常に考え、授業と家事がつながるようにする。

総合的な学習の時間	
■児童の状況	○個人で課題をもって調べる学習には、意欲的に取り組んでいる。 ●調べ学習では必要な情報を抜き出す力が不足している。
■指導についての課題	・調べたことをどのようにまとめるか、具体的な方法を提示していく工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・国語や社会などに関連付けて情報を抜き出す活動を多く取り入れていく。 ・タブレットや PC 等、ICT 機器をすすんで活用して、情報を得る手段を児童が理解できるようにする。 ・資料をそのまま書き写すのではなく、自分の言葉で（友達が理解できるように）まとめることをその都度指導する。

特別の教科 道徳	
■児童の状況	○相手の立場に立って発言することのできる児童が多い。
■指導についての課題	・意見を書けない児童への個別支援と、思考が深まる工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・生活場面とのつながりも考えて発言できるように、ワークシートや発問の工夫をしていく。 ・ペアやグループで話し合い、考えの幅が広がるように工夫していく。

外国語	
■児童の状況	○すすんで発言し、意欲的に取り組んでいる。 ●英語と触れ合う機会が少ない児童は学習についてこられない場面が見られる。
■指導についての課題	・全員が楽しめるような学習活動の工夫
■授業改善に向けての具体的な方策	・歌やゲームを通して、楽しく外国語に触れ合えるようする。 ・外国語で友達と交流したり、講師と話したりする場面を多く取り入れる。